ミニ旅案内
北陸の市町村

輪島市（わじまし）

地震と豪雨の被害から力強く立ち上がる不屈の魂

昨年の大地震と豪雨で観光のまち、輪島市の姿は一変。地場産業は壊滅的な打撃を受けました。しかし今、さまざまな支援により復活の兆しが見え始め、漂器関連のスポットやお店も再開しています。堅牢で優美な輪島塗の工程をつぶさに見られる石川県輪島漆芸美術館。日常使いの器からみやげまで品ぞろえ豊富な輪島塗会館。漆器の今様の使い方を提案するギャラリー蔦屋や、輪島塗の素地を生かした四十沢木材工芸の新しいスタイルも注目です。美しい器を堪能した後は、地元人が太鼓判を押す伸福で能登の漁港直送の魚介に舌鼓。行って買って食べて輪島を後押ししませんか。

輪島市DATA

人　口：19,292人
面　積：426.35㎢
市の木：アテ
市の花：ユキワリソウ
市の鳥：トキ
※人口は石川県のHPより 令和7年4月現在

※掲載の情報は取材時のものです。お出かけの際はあらかじめご確認ください。

※ご紹介記事の休日は、GW・夏期・年末年始・冬期等を省略しています。また、入館料等は大人1名の料金のみ記載していますのでご了承ください。

↑丹念な工程を経て生み出される輪島塗

”漆の里”が誇る歴史と名品を堪能

石川県輪島漆芸美術館

●いしかわけんわじましつげいびじゅつかん

伝統工芸「輪島塗」発祥の地ならではの漆芸専門ミュージアム。企画展のほか、常設展で輪島塗の歴史や技を製作道具や映像でわかりやすく紹介。近現代の輪島塗の秀作や、人間国宝などによる数々の漆芸作品に出会える。

↑正倉院の校倉造をイメージした外観

☎0768-22-9788　住輪島市水守町四十苅11　料入館630円
時9時～17時（入館は～16時30分）　休年末年始、展示替え等による休館あり　P42台

↑3割の器が被害を受けたが、建物は無事復旧。現在は午前中のみ開館

↑シックな塗りのアクサセリーも取り扱う

輪島塗の品ぞろえは市内随一

輪島塗会館

●わじまぬりかいかん

輪島漆器商工業協同組合が運営する輪島塗ショップ。広々としたスペースに約60の漆器店が出展し、品ぞろえの充実度は市内随一。どの商品も輪島塗の正統な工程を経た高品質なものばかりだ。

☎0768-22-2155
住輪島市河井町24-55
料入館無料　時9時～12時
休土・日曜、祝日　P15台

現代の暮らしにもマッチする器を提案

ギャラリー蔦屋

●ぎゃらりーつたや

江戸末期創業の老舗「蔦屋漆器店」のギャラリー。築100年の蔵空間に並ぶのはモダンなデザインのオリジナル作品。「使ってもよし、使わないときは飾っても楽しい」をコンセプトにした椀、皿などは現代のライフスタイルにもぴったり。

☎0768-22-0072　住輪島市河井町3-103
時10時～17時　休不定休　P2台

↑「塗師（ぬし）屋」の看板が目印

先代の技を守り変わらない味を提供

寿司処 伸福

●すしどころ しんぷく

震災で一部損壊、水害でも被害を被ったが、「お寿しが食べたい」という近隣住民の声をきき、4カ月後に再開を決意した2代目店主、干場さん。地元輪島港が被害を受けたため名物の朝市丼ではなく、海鮮丼を提供。美味しさは以前のままだ。

☎0767-66-1594
住輪島市河井町5-41-23
料11時30分～13時30分LO、17時30分～21時
休不定休　P8台

↑テイクアウトにも応じている

↑海鮮丼（岩のり味噌汁付）2500円はボリューム感たっぷり

SNSで「可愛い」と話題になった
輪花（りんか）盆1枚5500円～

テーブルキャディ（小）
26400円は道具入れに

サクラの木目が美しい豆皿や小皿

↑ギャラリー内に入ると木の芳しい香りに癒される

↑長木瓜（ながもっこう）ぼん（中）9900円

木目の美しさを愛でる新クラフト

四十沢木材工芸

●あいざわもくざいこうげい

漆器の素地を作る木地屋として創業。木目の美しさを生かしたオリジナル製品に取り組み、日常使いの「KITO」、子どもも使いやすい「ara!」、高度な削りの技が冴える「SUI」の3シリーズを展開。洗練された空間で選ぶ楽しさも満喫できる。

☎0768-23-4077　住輪島市堀町3-8-1　時9時30分～17時30分
休Instagramで告知　P5台